

菊陽人 りさーち



かい ひなた
甲斐 陽向さん
(8歳・八久保)

- 趣味 ピアノ
- 将来の夢 パティシエ
- 今一番やりたいこと クッキーを作りたい
- 家族に伝えたいこと いつも優しく育ててくれてありがとう

「菊陽人りさーち」に掲載を希望する人は、はがきに「氏名」「年齢」「住所」「連絡先(昼間)」を明記し、〒869-1192菊陽町役場総合政策課「菊陽人りさーち」係までお送りください。
注)掲載対象は、小学生以上で菊陽町に居住している人に限ります。親子、祖父母と孫など2人1組での掲載もできます。掲載が決まりましたら、こちらからご連絡します。



かい こはる
甲斐 胡春さん
(6歳・八久保)

- 趣味 友達と遊ぶこと
- 将来の夢 介護福祉士
- 自慢できること 体が柔らかいこと
- お父さんに伝えたいこと いつもお仕事頑張ってくれてありがとう

人権のひろば

子どもの目、子どもの声
人権
作文シリーズ
【No.57】

◆印からの文章は先生のコメントです。
◆人権標語 ・「どうしたの」 たった5文字の 救いの手
・伝えよう 自分の気持ち 正直に
・暴言は 人傷つける 凶器だよ

(武蔵ヶ丘中学校人権委員会)

問い合わせ
人権教育・啓発課
☎232-2113

第29回 菊陽町人権子ども集会

菊陽町人権子ども集会が12月7日、菊陽町民体育館で開催されました。
この集会は「もつとなかまのこころを、自分にできることを行動に移し、身の回りの差別をなくしていく」「なかまの輪」を広げていこうと、子どもたちが自分たちで企画し実施する集会です。今年には武蔵ヶ丘北小、武蔵ヶ丘小、菊陽西小、菊陽中の4校がステージ発表し、約千人の参加者がありました。
開会にあたり実行委員長(武蔵ヶ丘中)が「私たちはお互いをよく知らないから、知らずに相手を傷つけてしまっています。お互いをもっとよく理解し認め合うことで新しい関係を作ることが出来ます。『自分を振り返り、気づき・考え・行動する』そのために、この集会を開くのです。」とあいさつ。
ステージでは3つの小学校が、長崎への修学旅行で学んだことを中心に「戦争と平和について」長崎から学んだこと、「平和って何だろう?」「平和宣言」を発表し、中学校



▲菊陽中学校の発表



▲武蔵ヶ丘北小学校の発表



▲武蔵ヶ丘小学校の発表

は、東日本大震災で被災された宮城県の中学校との交流の取り組みを「ともに未来へ」という構成詩と歌で表現しました。展示では、人権啓発ポスター・標語、保育園児が描いた生活画をはじめ、環境や平和、人権などをテーマにした作品が掲示されました。



▲菊陽西小学校の発表

集会の最後には「お互いのことをもっと知り認め合うこと、一人一人が目のある差」別を「自分のこと」として考え行動することが、安心して暮らせる学級・学校・社会をつくりだすことになるのです。この集会をきっかけにして、菊陽町から差別をなくすなかまを増やし、差別をなくすための行動をしていきます」という集会宣言文が読み上げられました。
参加者からは、「私は、当たり前に行っていることが当たり前と思っていたけど、当たり前前の方が一番幸せなのだと感じました」など、平和や人権の尊さを受け止めたお返しがたくさんありました。

語り部さんの思い

水俣学習から

菊陽北小学校5年 石坂 優奈

わたしは、集団宿泊学習で、水俣病資



▲5年のなかまたち

◇自分のことを語るのはつらいことだけど、話すことで心が強くなることもあるし、なかまも増えますよ。

きくよう文芸

菊陽句会報

草原に映ゆる鏡や初氷	坂本百合子	穂芒や少女光の中に消ゆ	井上久美子
草紅葉瀬音せせらぐ山の音	田中 郁子	山波の日暮れせまりて枯尾花	宮川ユキエ
まず一步深くふみだす里神楽	井 子文	刈田跡飼料ロールの大座り	日高 妙子
残業の子を待つしじまおでん煮ゆ	財津 早雪	遠足見みやげどきりと団栗を	曾我 育代
青空のキャンバスに映ゆ梅もどき	原野レイ子	薄紅葉三千段や膝笑ふ	曾我トモ子
四方の山紅葉を揺らしダム爆破	力 幸子	石路の庭留守をまもるも迎ゆるも	紫藤 祥子
間引き菜の一夜漬けにて朝餉済む	寺尾千代子	逆らへぬ老の一字枯野ゆく	村上 朋子
湯煙の里へ流るる淡紅葉	高橋 孝子	夕されば足許照らし石路の花	野口 令史
さびしげに落ちる一枚柿落葉	佐藤 健	鉛筆を削り文化の日なりけり	松橋 強
朝露に光かがやく大樹の葉	佐藤 節	公園に子等の声消ゆ秋の暮	藤本 純子
珍しき蝶を見せんと孫呼びきアサギマダラと後で知りたり	吉野 早苗	挽ぐ人も見えず青空柿の里	佐藤 澄世

短歌会

南天の赤き実を見つつ佇みぬ過ぎ行く年の速さを感じる
長い夏終わりに秋が訪れぬ今朝は早くも薄霜の降る
水澄みて流るる川の水底の石に影おきゆるる波紋は
蠟梅の枝葉に添ひて紫の皇帝ダリアは高々に咲く
珍しき蝶を見せんと孫呼びきアサギマダラと後で知りたり
満天星は日に日に赤く変わりゆく朝日差す中一際明るし
天高く飛行機雲のすじひとつ芒の原が銀色に輝る
冬じたく始める山のすそ野には色鮮やかな山茶花の群
思ひ出を手繰り寄せつつ見る薊に湯気立つ鍋の糸繰りし母
揺れながら巻きて流れて広がって西方の雲琥珀色に輝る

今村 貞子
梅田 國雄
河北 幸一
菊川あさみ
佐藤せい子
下田 久子
松岡富紀子
中村トシエ
山川 カヅ
松本 東亜